

岩手・宮城県際ネットワーク

－ 令和元年12月2日発行 － (担当公所：岩手県沿岸広域振興局) (第162号)

●編集・発行 地域づくり団体ネットワーク岩手・宮城県際交流会事務局

岩手県	県南広域振興局経営企画部	0197-22-2812	https://www.pref.iwate.jp/kennan/keiei/index.html
岩手県	沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター	0192-27-9911	https://www.pref.iwate.jp/engan/ofuna_chiiki/index.html
宮城県	北部地方振興事務所栗原地域事務所商工・振興班	0228-22-2195	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-e/
宮城県	東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班	0220-22-6123	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/
宮城県	気仙沼地方振興事務所地方振興部	0226-24-2593	https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-tihouken-e/

圏域情報

◆◆◆◆ 岩手県 沿岸広域振興局経営企画部大船渡地域振興センター ◆◆◆◆

東日本大震災津波伝承館-いわてTSUNAMIメモリアル-を紹介します！

9月22日にオープンしてから、多くの方にお越しいただいている、東日本大震災津波伝承館(いわてTSUNAMIメモリアル)。来場者は既に7万人を超え、東日本大震災での津波の恐ろしさ、そこから学ぶべき教訓を伝えています。

オープン初日の午前中には高円宮妃殿下に内覧いただき、午後の一般公開には開館前から100名以上が並び、短い開館時間ながら、約2,000の方が訪れ、初日から注目の高さがうかがえました。

伝承館内は「歴史をひもとく」、「事実を知る」、「教訓を学ぶ」、「復興を共に進める」といったゾーンに分かれており、それぞれのテーマに沿った展示がされています。中でも東日本大震災の現場の記録等が展示されている「事実を知る」ゾーンでは実際に被災した物や当時のニュース等を見ることが出来るほか、大きなスクリーンで、各沿岸市町村を襲った実際の津波の映像が公開されており、

その強烈さ、恐ろしさを感じることが出来ます。

また、伝承館には展示の解説を担当する解説員がおり、展示を見るだけでは伝えきれないことを解説してくれます。

他にも貴重な記録などがご覧になれますので、ぜひ、お越しく下さい。



■お問い合わせ先

東日本大震災津波伝承館

TEL 0192-47-4455

「オープンファクトリー五感市」が開催されました！

11月8日(金)～11月11日(月)の4日間、奥州市・平泉町・一関市で「オープンファクトリー五感市」が開催されました。



「オープンファクトリー五感市」とは、岩手県南地域の一関市・平泉町・奥州市の3つの地域にある、伝統工芸をはじめとした地域産業の“ものづくり”の現場を一般の方に見学・体験してもらうイベントです。

昨年の開催に続き2回目の開催となる今回は、工場や工房など23事業所が参加しました。



初日に平泉町の平泉文化遺産センターで行われたオープニングセレモニーには、関係者約20人が出席し、佐藤圭実行委員長のあいさつの後、テープカットにより開幕しました。

見学の他に実際に職人の技を体験できる工場や工房では、子供連れで訪れる方も多く、大人も子供も楽しめるイベントとなりました。

また今回は、5か所以上を巡ってスタンプを集めると五感市限定のオリジナルグッズがプレゼントされるスタンプラリーや、平泉町との共同企画「世界遺産平泉フォトコンテスト」、一関・平泉エリアを舞台とした自転車ツーリング等、新たなコンテンツも増え、昨年よりもさらに盛り上がりました。



〔オープンファクトリー五感市 参加企業〕
岩谷堂タンス製作所/彫金工芸 菊広/佐秋鋳造所/回進堂/及源鋳造/正法寺/及富/南部鉄器工房 村咲/奥州市伝統産業会館 奥州南部鉄器館/翁知屋(おおちや)/チバインテリア/岩手銘醸/京屋染物店/丸三漆器/小山太鼓店/一関シネプラザ、かぶらや/松栄堂/磐乃井酒造/及川石材店/佐々木製籠店/世嬉の一酒造/八木澤商店/館ヶ森アーク牧場

■お問い合わせ先

オープンファクトリー五感市実行委員会
(一社)世界遺産平泉・一関 DMO 地域活性化拠点 一 BA(いちば)

電話：0191-48-3838

◆◆◆◆ 宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所 ◆◆◆◆
全国苔フェスティバル in 栗原 が開催されました

栗駒山が錦秋に彩られた10月26日(土)、栗駒高原森林組合を会場に、全国初となる「全国苔フェスティバル in 栗原」が開催されました。(主催：同実行委員会)

このイベントは、栗原地域で栽培が進められている「苔」の産地化を目指し、全国へのPRや認知度向上などを目的に開催され、全国各地から苔事業者11者(新潟、大阪、秋田など)が集まりました。会場では、苔関連製品展示やパネルディスカッションが開催され、一般にはあまり知られていない「苔の世界」が紹介されました。

当日は、好天に恵まれたこともあり、県内外から苔マニアをはじめ、一般の方々など約1,500人が来場され、会場内に展示された様々な個性的な苔の姿に触れ、苔の魅力を実感している様子でした。

また、当所林業振興部からは、これまで栗原管内で普及を図っている苔についてPRするとともに、苔玉づくりワークショップを開催し、参加者に苔とのふれあいを楽しんでいただきました。さらに、ステージでは、栗原市内7団体による吹奏楽の演奏や郷土芸能の披露、特産品販売なども行われ、深まる秋の一日を楽しんでいただきました。

来場者からは、「身近な苔を見る目が変わった!」「こんなに奥が深いとは思わなかった。」など、今後につながるご感想がたくさん寄せられて、栗原地域は、苔の特産化に向けて一層盛り上がっています。



(参加者で賑わう苔玉教室)



(観賞用に向く種類の苔)



(盛上がったパネルディスカッション)



(観賞用に加工した苔製品)

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部交流会を開催しました

11月11日（月）に秋田県雄勝郡羽後町にて、登米市内で活躍するコミュニティ団体などが会員となる「みやぎ地域づくり団体協議会登米支部」の交流会（現地研修会）を開催しました。

今回の交流会では、日本三大盆踊りの一つである「西馬音内盆踊り」の活動拠点となる会館を視察し、その後、羽後町企画商工課職員から地域活性化の取組について講演していただきました。

西馬音内盆踊り会館では、100年以上前に使われていた踊り衣装や盆踊りの様子をミニチュアの人形で再現した展示品、西馬音内盆踊りの映像資料などを鑑賞しました。映像資料を鑑賞した後は、西馬音内盆踊りの後継者不足等の課題解決に向けた取組などを教えていただきました。



羽後町職員の方による講演では、「地域課題克服から挑む地域活性化 ゆきとぴあ七曲が育む人々の連係」を演題に、地域を代表する冬のイベント「ゆきとぴあ七曲」の概要や、このイベントによって培われている住民間のつながりなどについてお話をいただきました。



羽後町の冬の悩みの種である「雪」を楽しいことに活用ができないか、という発想を出発点に「ゆきとぴあ七曲」を企画・開催するまでの経緯や、どのようにして地域活性化につなげていったのかを詳しく説明していただき、改めて自分たちの課題は何か、地域を活性化させるためにできることは何なのかを考えさせられる機会となりました。

■お問い合わせ先

みやぎ地域づくり団体協議会登米支部
（宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所商工・振興班）
電話：0220-22-6123

「宮城オルレ」気仙沼・唐桑コースがオープン1周年を迎えました

美しい自然や地域の歴史、文化を楽しみながら歩くトレッキングコース「宮城オルレ」気仙沼・唐桑コースがオープンから1周年を迎え、これを記念したトレッキングイベントが9月29日に開催されました。



イベントには国内外から約120人が参加。開会式では地元の特産品の桑の葉で作った「大唐桑茶」での乾杯の後、スタートが切られました。

当日は秋晴れの絶好の天候のもと、コースでは見頃を迎えた季節の野草であるハマギクが見事に咲きほこり、海辺のコースを彩っていました。



昼食会場では地元の女性団体より唐桑産の牡蠣を使った牡蠣汁が振る舞われ、大好評でした。また、ゴール地点ではオープン以来交流を進めている「九州オルレ」唐津コースの特産品「サザエのつぼ焼き」が振る舞われた

ほか、宮城県の今年度上半期の観光キャラクターである「サザエさん」がゴールした参加者を出迎えました。



「宮城オルレ」気仙沼・唐桑コースは冬期間も降雪が少ないため、トレッキングが楽しめます。

観光協会では唐桑の歴史やコース上の植物などについてガイドを行うコースガイドの予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



■お問い合わせ先

唐桑半島ビジターセンター内唐桑町観光協会
TEL：0226-32-3029

イベント情報など

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆

中尊寺米納め

中尊寺経蔵別当領であった骨寺村荘園遺跡。この地で収穫された作物(米)を中尊寺へ奉納する儀式を再現した「米納め」行事です。

中世の時代より受け継がれたこの行事は、戦後一度途絶えますが、平成20年に復活を遂げ、中尊寺との歴史的つながりを継承しています。

骨寺村荘園内の駒形根神社から発し、同じく荘園内の慈恵太子拝殿を参拝したのち、中尊寺へ向かう行程です。

骨寺村荘園と中尊寺の歴史的な深いつながりを体感できる、厳かでありながら賑やかな年末の恒例行事を体感することができます。



■開催日

令和元年 12月15日(日)

■場所

一関市・平泉町(骨寺村荘園(駒形根神社・若神子亭ほか))

■お問い合わせ先

骨寺村荘園交流館

電話：0191-33-5022

◆◆◆◆ 岩手県 県南広域振興局 ◆◆◆◆

毛越寺二十日夜祭

正月14日から20日までの新春の祈禱である常行堂の摩多羅神(またらじん)祭が執り行われます。特に結願の20日は二十日夜祭と称され、献膳式に引き続き古伝の常行三昧供の修法が行われます。

さらに、厄年の老若男女が松明のあかりを先頭に常行堂まで練り歩き、宝前にダイコンや野菜などの供物をささげて、無病息災、家内安全を祈願する献膳上り行列が行われます。

最後に堂内では法楽として「延年の舞」が夜半まで奉納されます。



■開催日

令和2年 1月20日(月)

■場所

毛越寺

■お問い合わせ先

毛越寺

電話：0191-46-2331

◆◆◆◆岩手県 沿岸広域振興局経営企画部
大船渡地域振興センター◆◆◆◆
三陸・大船渡 第23回つばきまつり開催!

毎年恒例の「三陸・大船渡 つばきまつり」は、今年で23回目を迎えます。

大船渡市の市の花となっているつばき。会場となる世界の椿館・碁石では、世界13か国約550種類のつばきが展示され、つばきまつりでは市内外の人々で賑わいます。

まつりの期間中は休館日なしで開館しており、初日の1月19日から隔週日曜日にはイベントが開催され、イベント開催日以外の日曜日には様々な講座が実施される予定です。



■開催期間

令和2年1月19日(日)～3月22日(日)

■開館時間

午前9時～午後5時

■場所

世界の椿館・碁石(大船渡市末崎町)

■お問い合わせ先

つばきまつり実行委員会事務局
(大船渡市農林水産部農林課内)
電話:0192-27-3111

◆◆◆◆宮城県北部地方振興事務所
栗原地域事務所 ◆◆◆◆
栗駒山麓ジオパーク学習交流会2019

栗原市では市内の小・中学校を中心に、毎年ジオパークの資源を題材としたジオパーク学習が進んでいて、今年も一般市民向けに学習成果が発表されます。この交流会は、学習を通じて得た学び・発見を互いに教え合い交流することで栗駒山麓ジオパークの理解を深めるだけでなく、地域に根ざしたジオパーク学習の普及と展開を図ることを目的としています。子供達の視点で見えるジオパークをお楽しみ下さい。

■開催日時

令和元年12月19日(木)

午前9時30分から正午まで(開場9時)

■場所

若柳総合文化センター(ドリーム・パル)
(宮城県栗原市若柳字川北古川83)

■発表小中学校

築館小学校6年生、鶯沢小学校6年生
栗原南中学校2年生、築館高等学校2年生

■お問い合わせ先

栗駒山麓ジオパーク推進協議会
(栗原市商工観光部ジオパーク推進室)
☎0228-24-8836



(中学生による成果発表:昨年度)

◇◆◆◇ 宮城県東部地方振興事務所
登米地域事務所 ◇◆◆◇
「石越冬のまつり」が開催されます

毎年1月14日に行われている「どんと祭」と「花火大会」からなる「石越冬のまつり」が今年も開催されます。

当日は、多くの露天が立ち並ぶほか、商売繁盛、無病息災や家内安全等の願いを込めた花火の打ち上げなどが行われます。

夏とはひと味違う冬の花火を味わいに来てみてはいかがでしょうか。



■開催日

1月14日（火）

■時間

どんと祭：午後4時～

花火大会：午後7時～

■場所

石越総合運動公園

（登米市石越町南郷字矢作 122 番地 1）

■お問い合わせ先

石越冬のまつり奉賛会事務局

（登米中央商工会石越町支所）

電話：0228-34-2064

◇◆◆◇ 宮城県気仙沼
地方振興事務所 ◇◆◆◇
南三陸まるごとクーポンブックを販売中！

南三陸町観光協会では、町内の観光やグルメをお得に楽しめるクーポンブックを販売中です。



（南三陸町観光協会提供）

町内の約70の店舗や宿泊施設、イベント、ツアーを掲載しており、店舗毎に割引やサービスを受けられます。販売価格は1,000円（税込）です。

南三陸町のグルメ・買い物・宿泊・体験・イベントをお得に楽しめる1冊！クーポンの有効期間は令和2年2月29日までです。

販売は南三陸町観光協会のほか、南三陸さんさん商店街やくりこま高原駅案内所などにて。インターネットからも購入できます。

<https://www.m-kankou.jp/coupon-book/>

（南三陸町観光協会の公式HPです。）

■お問い合わせ先

一般社団法人 南三陸町観光協会

電話：0226-47-2550